

学校の現状・課題

- より良い学校づくりと働き方改革の両立が難しい
 - 生徒のために勤務時間の内外にかかわらず注力するという意識が依然として根強いため、働き方改革が軽視されてしまう。
- 組織体制や業務の硬直化により校務の変革が難しい
 - 日常的に余裕がないため、業務が前例踏襲になりがちである。
 - ICTの活用に不慣れな職員が多いため、校務DXが広がらない。
- 学校の課題解決に向けて職員一丸となった取組が必要
 - 生徒確保に向けて学校の魅力を高める必要がある。
 - 職員同士が協力し合い、支え合う組織の構築が不可欠である。

ビジョン（目指す姿）

- 教育の質の向上につなげる働き方（働きやすさ・働きがい）改革を推進
 - 【目標指標】・「教育の質が向上した」との回答 100%
 - ・「働きがいを持って働けている」との回答 100%

実施計画（ロードマップ）

月	指定校	コアチーム	支援チーム
4月	学校経営方針の提示（校長）	コアチームの編成	
5月	自校の課題を全職員で共有	職員アンケートの実施① 改善策の検討・提案	指定校の課題交流 相談・助言（随時）
6月			
7月			
8月			取組状況の確認 (訪問指導)
9月			
10月		職員アンケートの実施② 進捗管理・フォローアップ 新たな改善策の検討・提案 学校HPでの発信	相談・助言（随時）
11月			
12月			
1月		職員アンケートの実施③ 意識の変化の分析・検証	相談・助言（随時）
2月		事業の総括 学校HPでの発信	
3月	取組の成果を全職員で共有		成果・課題交流

コアチームによる取組状況（10月時点）

①コアチームの編成、会議の実施

- コアチームの編成（校務分掌命課による）
- 事業予算での購入物品及びアンケート意見を踏まえ取組検討（7/22・チャット）
- チーム会議を実施（8/22）し、チェックリストの作成及び業務改善取組を議論

②職員アンケートの実施

- アンケートを6月、10月に実施し職員全員が回答
- 集計結果を取りまとめ職員に共有

③業務改善取組の検討・提案

- コアチーム会議で検討し、職員会議で今年度の重点取組を提案
 - チャットによる情報共有の活性化
 - 共有フォルダ内の電子データの整理
 - 行事などの実施方法の改善

④事業予算の執行

- 講義室用扇風機6台、グラウンド用タープテント1張『暑熱対策』
- 校務用PCのストレージ交換（SSD）20台『ICT環境整備』
→働きやすさ向上を目的

目標の到達状況

目標指標	6月	10月	1月
「教育の質が高まった」との回答	—	43%	
「働きがいを感じて働けている」との回答	86%	77%	

時間外在校等時間（月別）

R7	4月	5月	6月	7月	8月	9月
教育職員平均	54.6h	56.9h	59.3h	42.7h	31.1h	55.0h
（前年比）	+0.0h	-4.4h	-5.5h	-7.2h	+1.0h	-3.9h
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育職員平均						
（前年比）						